

2 かがわの目指す食育

(1) 現状と課題

① 現状

● 食品・栄養素の摂取状況 野菜の摂取不足

- 本県における県民一人あたりの野菜の摂取量は、男性が全国最下位、女性が全国ワースト2位となるなど、野菜の摂取不足が深刻な状況にあります。

● 食習慣 朝食の欠食、孤食の増加

- 30歳代男性の朝食の欠食率が20%を超えるなど、若い世代を中心に朝食を欠食する割合が高い状況にあります。
- 幼児期から、朝食の欠食、栄養バランスの偏り、孤食などが見られます。

● 健康 生活習慣病の増加

- 20歳から60歳代の男性では、肥満（BMI 25以上）が35%を超え、その割合は増加傾向となっています。
- メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者と予備群の合計の割合は、40歳から74歳の男性の約40%、女性の約15%と、深刻な状況にあります。

● さぬきの食文化 郷土色豊かな食文化の希薄化

- 温暖な気候と讃岐平野・瀬戸内海などの豊かな自然環境・資源に恵まれた本県では、ばら寿司、うどんなど特色ある郷土料理が数多く生み出され、さぬきの食文化として祭りや年中行事などととも長い間受け継がれてきました。
しかし、社会環境の変化や食生活の多様化、外部化により、季節感あふれる郷土色豊かな食文化は薄れつつあります。

② 課題

● 県民自ら食を通じた健康づくり

- 県民が自らの健康に関心を持ち、生活習慣病や肥満の予防、野菜の摂取不足の改善につながるライフステージに応じた適切な食生活の実践や食を通じた健康づくりができるよう、行政と関係団体等が連携・協働し、支援することが必要です。

● 家庭・地域・学校等の連携による食育の推進

- 朝食の欠食や栄養バランスの偏りが子どもから全世代にわたってみられ、様々な機会を通して、望ましい食習慣を身に付ける取組みが必要です。
- 食べ物が食卓にのぼるまでの過程への理解や食に対する感謝の念、食品の賢い選択、調理体験等が子どもの頃から身に付けられるよう、「弁当の日」の取組みなど家庭、地域、学校等の連携を促進する仕組みづくりが必要です。

● さぬきの食文化を生かした食育の推進

- 代表的な郷土料理の食材や調理法などの地域の食文化と、香川県の豊かな農水産物の生産に根ざした食の知恵や技術を行政、地域、関係団体等が連携しながら次の世代に引き継ぐことが必要です。

● 地産地消や体験活動等を通じた食の理解の促進

- 産直施設や農林漁業者、食品関連事業者等による様々な体験活動の機会の提供及び食に関する情報提供に努め、地産地消や体験活動、生産者と消費者との交流等を通じた食の理解の促進に取り組むことが必要です。
- 食品の安全性、食品の生産と流通、食文化、地域固有の食材の知識などについての確かな情報収集・提供を行い、食に対する理解を促進することが必要です。

● 食育の推進体制づくり

- 食育の普及啓発や地域における実践活動について、行政や食に関係する様々な団体が連携・協働し、県民運動として食育の推進に取り組んでいくことが必要です。

(2) 基本目標

心身ともに健康で豊かな県民生活の実現

食育の推進に当たっては、さぬきの食文化が香川県の歴史、風土及び環境から育まれてきたことを踏まえ、食に対する親しみや感謝の念を持ち、様々な経験を通じて、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育む食育を、県民運動として展開していくことが必要です。

また、地産地消の取組みや学校での食育、体験活動の充実、我が国の伝統的な食生活の尊重や郷土の豊かな食文化の継承、食の安全・安心に関する情報提供などを進め、県民一人ひとりが食に関する知識と理解を深め、自らの判断で食を正しく選択できるよう、支援することが必要です。

このため、「心身ともに健康で豊かな県民生活の実現」を基本目標として設定し、県を挙げて食育の推進に取り組めます。

(3) 基本方針

この基本目標を実現するため、次の3つの基本方針を設定します。

心身ともに健康で豊かな人づくり

生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むために、健康に配慮した食生活が実践できるよう、家庭、地域、学校・保育所等と連携して、ライフステージに応じた食育を推進し、心身ともに健康で豊かな人づくりを目指します。

さぬきの食文化の継承・発展と体験や交流の促進による地域づくり

ボランティアや生産者、学校、関係団体等と連携し、郷土料理の伝承や地産地消と体験活動を通じた食への理解を促進するなど、受け継がれてきた豊かな食文化を継承・発展させるとともに、体験や交流の促進による地域づくりを推進します。

市町や関係団体等との連携・協働による環境づくり

県民一人ひとりが自らの「食」について考え、判断できる知識を身に付け、生涯を通じて心身ともに健康で豊かな生活が実現できるよう、市町や関係団体等と連携・協働して、食に関する的確な情報の収集・提供や適切な食育の実践活動の推進など、環境づくりを推進します。